



# 道 歯 技 広 報

The Bulletin of the Hokkaido Dental Technologists Association

2022 Spring No.24

- 巻頭言 「時代」
- 「第160回北海道歯科技工学術研修会」報告
- 「正中線を再現するためのミッドラインマーカーの応用」 札幌歯科技工士会 大江 利和
- 「第161回北海道歯科技工学術研修会」報告
- 「地域組織会長に聞く」 小樽歯科技工士会 会長 太田 桂吾
- 「若手歯科技工士から一言」 札幌歯科技工士会 木谷 貴昭
- 「狩野二三夫氏 北海道社会貢献賞 優良医療職員 を受賞」
- 「離島派遣報告 天売島編」 札幌歯科技工士会 高際 兼治
- 「歯科技工における手話表現・見える言葉」
- プロフェッショナル「モノリシックジルコニアへのオペークの加工」  
札幌歯科技工士会 熊坂 俊輝
- お知らせ 新型コロナウイルス感染症について／メーリングリスト登録について／  
Twitter 開設について／学術論文募集について
- 新入会員紹介／理事会報告／編集後記
- 活動・会員特典の紹介

PC用ホームページ <https://www.dougi.or.jp/top.html>  
携帯用ホームページ <https://www.dougi.or.jp/keitai.html>

表紙写真／札幌歯科技工士会 海津雅隆

## 『時代』

「『時代が時代が』ってなんか時代に逃げてる感じがするんですよね。」

これは、ビッグボスこと新庄剛志、北海道日本ハムファイターズ新監督の就任会見での一言です。

「そういう時代じゃないんだよね」

「今はこれが当たり前の時代」

「時代が変わったからそんなの無意味」

近年、何かにつけて、この様な言葉を耳にします。ライフスタイルの変化・働き方改革・多様性・ハラスメント問題等の観点から、良い時代に向かっている証・・・と、とらえたいですが、深く考察・理解せず『時代』という一言で片付け投げ出し逃げている側面はないかと感じずにはいられません。

「最近の若いもんは・・・」

年長者が世代間のギャップを感じた時に何世代も繰り返し使われてきた言葉ですが、『若いもん』→『人』と向き合っているのに対し、「そういう時代じゃないんだよね」は、『時代』という抽象的で曖昧なもののせいにして、若者と向き合うのを放棄してはいないでしょうか。

勿論、悪しき習慣・慣行は、改善さらには排除されるべきですし、若者に古い価値観を押し付けるのが正解だなどとは思っていません。

『温故知新』という言葉があります（前に学んだことや昔の事柄をもう一度調べたり考えたりして、新たな道理や知識を見出し自分のものとする。古いものをたずね求めて新しい事柄を知る意）、これまでどの様な道を辿ってきたのかを知り伝えることは、これからの進む道を決める重要な指標になります。また、古き慣行を体験せずして、その良し悪しは何を基準に判断するのか、また判断する機会すら若者から奪ってはいないか。そして、労働時間の規制により長時間働くことが望んでもできず、短い時間で成果を出さなければならず、昔のように我慢勝負、根性勝負ができず、となった若者に年長者として、どう向き合い助言し何を残せるのか悩みます。

「時代をわかっていないので新庄剛志らしくどンドンどンドン時代の怖さなんか関係なく突き進んでいけたらいいなと思ってます。」

新庄新監督の冒頭の発言はこのように続きます。スター選手として『一時代』を築いてきた新監督が何をどのように伝え結果を残すのか、地元プロ野球チームの活躍とともに期待し、何かこの『時代』を渡っていけるヒントはないかと注目していきたいと考えます。



## ● ● 第 160 回北海道歯科技工学術研修会 開催報告 ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会 常務理事 政氏 勲

2021 年 11 月 20 日にホテルグランテラス帯広にて第160回北海道歯科技工学術研修会を開催致しました。この前月に滝川で開催した第65回学術大会と同様に会場での対面受講と Web での受講を同時に行うハイブリッド形式での開催でした。

講演Ⅰでは東京都でご開業されている株式会社 Benefit Technology の中村悠介先生に「治療に関わることの重要性～私が考える歯科技工士の役割」と題してご講演いただきました。

中村先生が日常臨床で行っている患者の治療計画と実際の作業工程において歯科技工士・コデンタルスタッフとしてご自身がどのような考えをもって歯科医師に提案しているのか解説いただきました。セファロ画像の解説ポイントなど、とても丁寧にご講演いただきました。中村先生は審美のお仕事も数多くされていますが、新たな領域のお話で明日からの臨床にすぐにも活かせるお話を拝聴致しました。

講演Ⅱでは宮城県でご開業されている平栗デンタルサービスの平栗布海先生に「等脚台形法の考え方と活用法」と題してご講演いただきました。

平栗先生が日常臨床で用いている人工歯排列のガイドラインである等脚台形法について事前に準備をしていただいたトレーシングペーパーを使用して、受講生の皆さんにも実際にガイドラインの記入をしていただきながら解説いただきました。

中村先生、平栗先生ともに様々な手技に関わる部分よりも、歯科医師や患者とのコミュニケーションをより具現化し、お互いの意思の疎通をしっかりと取ることに重きを置かれていらっしゃることも勉強になりました。

また、今回の研修会におきましては十勝歯科技工士会の皆様にも多大なご協力をいただき無事に研修会を終えることが出来ました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



# ● ● 正中線を再現するためのミッドラインマーカの応用 ● ●

札幌歯科技工士会 大江 利和

## 目的

従来、顔面正中を咬合器上の模型に再現する方法として、水平バーや糸を正中に合わせる方法、咬合床のように試適した補綴装置に直接書き込むなどの手法がとられてきたが、どの方法も咬合器上の再現性は高いとは言えない。

以前、日本医用歯科機器学会にて「正中線を再現するためのレーザーポインターの応用」と題し、藤田良磨氏が発表したが、レーザーポインター改め、ミッドラインマーカ（商標登録取得済）として、各部位の改良を施したことにより、より迅速で正確な再現が可能となった (fig. 1)。

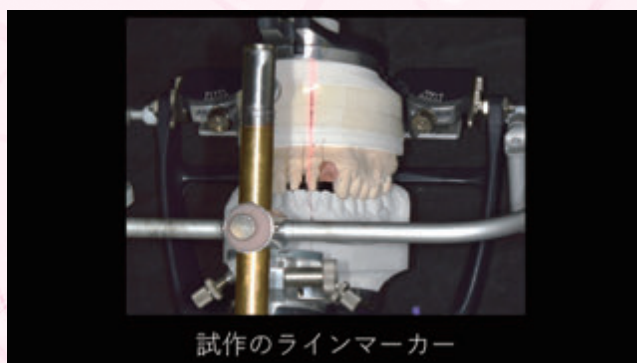


fig. 1

水平バーを使用する方法は、時間を費やし、同じ位置に固定することが困難である。また、場合によっては、断裂することもある。糸を正中に合わせる方法は、顔面上で正中を確認することはできるが、技工操作で確実に正中を再現できない。すなわち、咬合器上に軟組織の正中を再現するための基準点が模型上に表示できない。咬合床に正中線を直接書き込む方法は、術者の利き手や効き目、あるいはエバンス等の刃を切り込む方向や角度により、見え方が変わってくる。概しては、術者の立ち位置や見る角度が異なるだけでも、見え方が変わってきてしまう。

審美補綴はもちろんのこと、全顎的な補綴治療にとって、正中、咬合平面のずれは審美的かつ機能的に大きな問題となり、臨床では正確な顔面正中の情報を得ることは困難であり、度々、顔面正中と歯列正中の不一致が起こる。(fig. 2)。

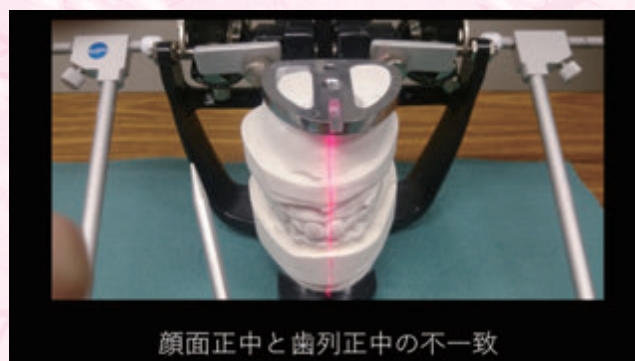


fig. 2

そこで、ミッドラインマーカをフェイスボウに取り付け、フェイスボウトランスファーの際に上顎歯列模型を咬合器に装着すると同時に、模型に正中線を正確に再現できる方法を検討した。

## 材料および方法

1. ミッドラインマーカ（以下、ラインマーカとする）のフェイスボウ装着

### 1) 材料

入手可能なクラス1のラインマーカに電源を(12V) 交換し、構造をフェイスボウクランプ（下部）とラインマーカクランプ（上部）の二つに分けた。クラス1とはレーザー光の安全基準で合理的に予見可能な運転状況下で、または観察用光学器具（ルーペまたは双眼鏡）をもちいても安全なレーザー製品の分類である。可視光の場合、目がくらむなどの視覚的影響が出る場合がある。

照射形状をラインからクロス（十字）に変更した。ラインマーカの固定に固定用クランプを使用 (fig. 3)。



fig. 3

### 2) 使用方法

フェイスボウのフレーム中央に垂直に交わるようにフェイスボウクランプを固定し、その後ラインマーカクランプとラインマーカを回転させながら顔面

正中にラインをレーザー照射する。

## 2. ラインマーカの臨床応用

- 1) 通法のフェイスボウトランスファーを行う。
- 2) 固定されたフェイスボウにラインマーカを正中に合わせて装着する (fig. 4)。



fig. 4

- 3) レーザーを照射して顔面の正中をレーザーの縦ラインで表示する。ラインマーカは、顔面正中にレーザーのラインを一致させることで固定する (fig. 5)。



fig. 5

- 4) フェイスボウを使用して、模型を咬合器に装着する (fig. 6)。



fig. 6

- 5) 装着された模型にレーザーを照射し、模型にラインを記入する (fig. 7)。



fig. 7

## 結果および考察

日常臨床では咬合器に装着された模型の正中が、顔面の正中と一致することは少なく、特に前歯部補綴装置を製作する際の基準線の設定が困難である。フェイスボウにラインマーカを装着することで、模型上に顔面の正中を容易に再現でき、技工操作で確実に正中を再現できた。さらに、ラインマーカに改良を加えることでバイトフォークのみの使用でも補綴装置の形態修正時に顔面正中の確認が容易にできるようになった。

## 結論

従来のラインマーカでは、縦軸のラインのみの照射であったが、今回、十字照射に改良したことで、より、顔面正中に合わせることが容易になった。また、スイッチを固定することで、より迅速に記録することができた。fig. 7の模型上の正中と顔面正中が一致していることがわかる (fig. 8)。



fig. 8

## 謝辞

本文校正に際し多大なるご指導ご鞭撻を賜った北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系 クラウン・ブリッジ・インプラント補綴学分野教授 越智守生先生、同じく准教授 廣瀬由紀人先生、北海道医療大学歯科クリニック 歯科技工部の皆様、RYOMA Dental Technician's Office 藤田良磨様、また今回投稿の機会を頂いた北海道歯科技工士会へ重ねて深謝いたします。

## 引用文献

- 1) 小出 馨ほか、デザインングコンプリートデンチャー:114-121, 医歯薬出版, 東京, 2008.
- 2) 小出 馨ほか、臨床機能咬合学:140-142, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 3) 藤田良磨ほか、正中線を再現するためのレーザーポインターの応用 日本医歯学機器学会誌 22(1):121-122, 2017.

# ● ● 第 161 回北海道歯科技工学術研修会 開催報告 ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会 学術担当常務理事 政氏 勲

2021 年 12 月 11 日に TKP 札幌カンファレンスセンターを会場に第 161 回北海道歯科技工学術研修会を開催致しました。講師は西村好美先生と山下茂子先生お迎えし、お二方とも大変多忙な中お越しいただきました。実はお二方とも昨年残念ながらコロナ禍により中止となってしまった研修会でお呼びする予定でしたので念願かなっての研修会の開催となりました。

講演Ⅰでは大阪府でご開業されております有限会社デンタルクリエーションアートの西村好美先生に『歯科技工道と業界の展望』と題してご講演をいただきました。デジタルデンティストリーによるニューノーマルの時代に、歯科技工士の進化の必要性和西村先生ご自身がダブルライセンス取得に至った当時の心情や歴史を通して、これから一人一人の歯科技工士に求められる姿についてお話していただきました。

また質疑応答の中で「鷹の選択」というエピソードも紹介してくださり、変化に対して恐れず勇気を持ち、一歩踏み出すことでその先には更に成長した自分自身がいる。と不確実性の時代を生きる私たちに励ましも送っていただきました。

講演Ⅱでは公益社団法人日本歯科技工士会副会長で大阪府株式会社デンタルデジタルオペレーション専務取締役の 山下茂子先生に『「With/Post コロナ社会」&「デジタル歯科技工への移行」歯科技工士の働き方はどう変わるのか』と題して

ご講演をいただきました。日本歯科技工士会副会長として取り組んでいる施策と採用された各地の歯科技工所の事例を採用に至った背景も含めて紹介していただきました。デジタル機器は高額な物が多いですので歯科技工所経営に寄与する、とても良い施策であると勉強になりました。

また日本の女性歯科技工士のリーダーとして女性が働きやすい環境づくりを普段からご自身の職場で取り組まれているお話や、IOS と連携した最先端のデジタルデンティストリーの良い点、改善点についても解説がございました。

山下先生は 36 歳の時に人との出会いから歯科技工士学校に入学され、西村先生は当時既に日本のトップセラミストでありながら更なる成長を目指して衛生士学校への入学をされました。お二人の姿を通して私自身も新たな気持ちで前向きに勇気を持って変化に挑戦していこう。と決意をさせていただきました。本当に素晴らしい講演を拝聴する事が出来ました。

最後になりますが、今回の研修会は開会直前にウェビナー機器に不具合が起り、予定より 30 分遅れての開会となってしまいました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。次回以降この様な事が起こらない様に改善をして参りますので、今後とも北海道歯科技工士会の研修会運営にご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



## ● ● 地域組織会長に聞く「最近おもうこと」 ● ●

小樽歯科技工士会 会長 太田 桂吾

「ハイル・ヒトラー！ピーター・デバイ」、ドイツ第三帝国ナチスが公文書の末尾にヒトラーの署名を強要したドイツ人物理学者デバイの書面である。

ユダヤ人であるマイトナーはドイツにおける最高の核科学者であり、その他大勢のユダヤ系科学者と同様に大学や研究所の職を追われ、強制収容所送りの運命であったがデバイによりギリギリの所でドイツを脱出し亡命に成功した。その後のドイツでは科学者確保のため、ユダヤ系科学者の出国が禁止され強制的に軍事科学に遂行させられている。

ユダヤ系ドイツ人物理学者のアインシュタインは早々に亡命することができたが、ドイツ物理学会からは祖国を捨てた者として非難されていた、そのアインシュタインがFBIの報告書にデバイは物理学での優れた能力を持つ鋭い人間であるが軍事的政治的にはドイツの諜報活動にとって都合の良い人間であると、両者の関係は冷えていた。

亡命者は潔癖であり、残った者は非難されるべきなのか。敵のようなふりをして出国した秘密諜報員は何人もいたのである。

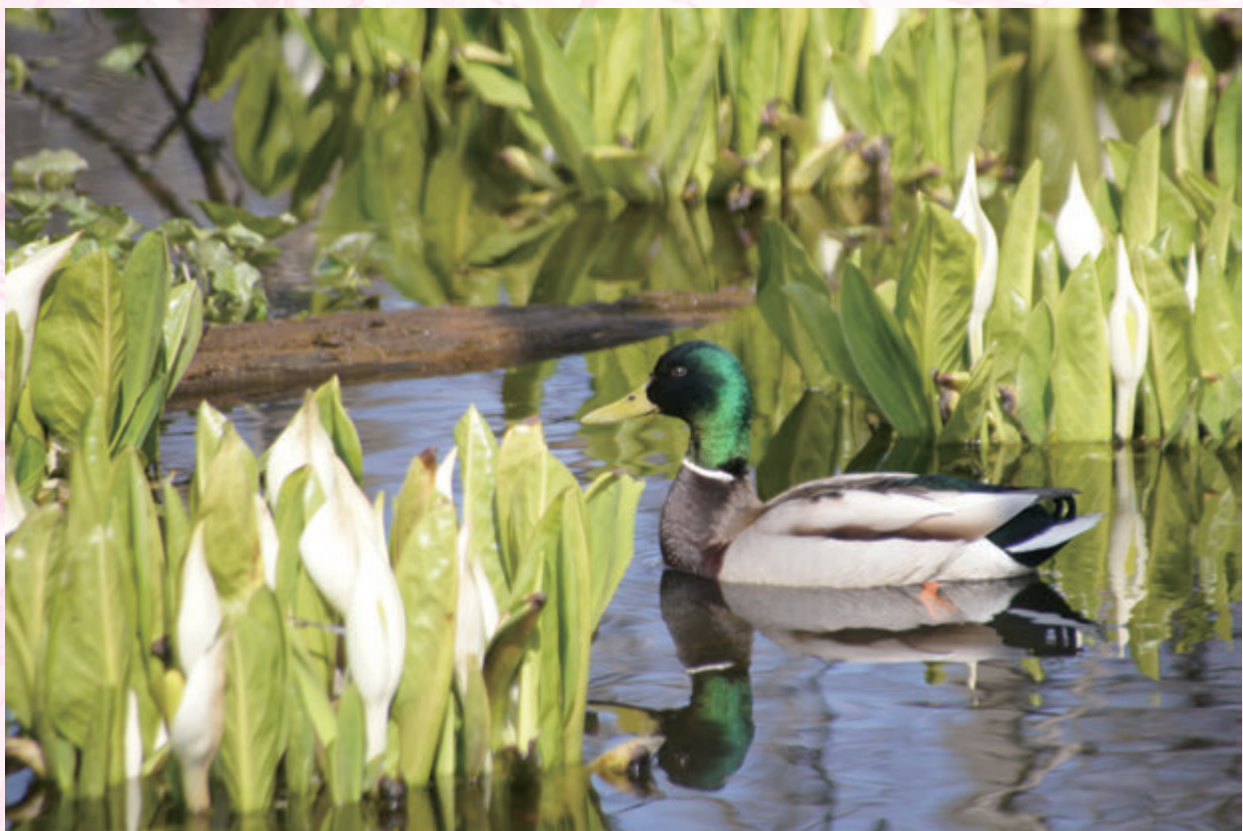
ナチスドイツでは核開発が続けられていたが物理学者ハイゼンベルグは「決めないまましておく」事とした。

戦後デバイは自らの行動について謝罪しなかった。そしてドイツの物理学者達は独裁権力に脅されても「良心の声に従った」が、「連合国科学者は何の恐れを抱く事もなく途方もない破壊力を秘めた核兵器を創り出した」と声明を出した。対して、連合国側であるアインシュタインは広島、長崎での原爆投下を謝罪している。

善と悪、勝者と敗者。基準は何か、誰が決めるのか、立場、状況、良信、人間性、などその判断は複雑である。

コロナや少子化など私達には判断し、決断しなければならない事が多々あり、多面的に、また様々な角度からの考察が必要であると改めて考えさせられた。

参考文献：フィリップ・ボール著、「ヒトラーと物理学者たち」 岩波書店（2016）



## ● ● 若手歯科技工士から一言「院内技工士として」 ● ●

札幌歯科技工士会 木谷 貴昭

私の経歴としましては、札幌歯科学院専門学校卒業後「株式会社札幌デンタルラボラトリー」で9年お世話になり、その後「さいとう歯科医院」の院内技工士として働き始めて2年が経ちました。

院内ラボに転職した理由は、学生の頃から心のどこかで歯科医院の技工士として患者様に直接関わることに憧れを抱いていたということ、またインプラントを始めとする自費の補綴物を1から10まで、一人で製作できるというところが、大きな理由となりました。

当医院は、ジルコニアを用いた補綴の製作が非常に多く、デジタル無しでは成立しない状況です。ですので、CAD/CAM システム、3D プリンターは毎日の仕事には欠かせないツールとなっています。デジタルはこれからの歯科技工業界において、なくてはならない物になりますので、時代の流れに乗っていけるよう、アンテナを張っておかなくてはいけないと思っています。

しかし、デジタル技工を行いつつ忘れてはいけないのが、アナログの部分だと思っています。当医院ではフルマウスの補綴がメインとなりますので、診断用 WAX UP が一番とっていいほど重要です。WAX UP は、ほとんどフェイスボウ、中心位のバイトを用いたマウントで行っています。

歯科技工士が患者様の写真を撮り、患者様の要望や悩みなどを聞き、セファロやCTを見て、Dr と相談しながら、診断用 WAX UP を行います。最近では CAD ソフトが進化しているのですが、フルマウスの WAX UP をバーチャルアーティキュレーターで行うのは、今の私の技術では不可能ですので、診断用

WAX UP は咬合器を使って、接触点、側方ガイド、アンテリアガイダンスを確認し行っております。この WAX UP をもとにプロビジョナルからファイナルへと進んでいきます。

セットの時はすごくプレッシャーを感じますが、患者様に喜んで頂いたり、お礼を言ってもらったりすると、すごくやりがいを感じますし、さらに上を目指そうというモチベーションにも繋がります。

最後に、私が歯科技工を行う上での課題として、顎機能に調和した補綴物を作るということがあります。これをマスターするには人一倍の努力が必要になるのですが、一人の医療人として患者様の補綴物を製作する以上必ずマスターし、歯科医療、社会に貢献していきたいと思っています。



## ● ● 狩野二三夫氏が、令和2年度北海道社会貢献賞「優良医療職員」を受賞！ ● ●

公益社団法人 北海道歯科技工士会会長 扇 照幾

公益社団法人北海道歯科技工士会 前監事 狩野二三夫氏が、令和2年度 北海道社会貢献賞「優良医療職員」を受賞いたしましたので、お知らせいたします。

### ■北海道社会貢献賞

北海道庁では、日常生活を明るく住みよい環境にするため、住民運動やボランティア活動等の自主的な運動を実践し、豊かな地域社会づくりに顕著な功績のある個人と団体に対して、北海道知事表彰を行っています。医療職員のカテゴリーは2団体枠の狭き門であり、今回の受賞は大変価値のある事であります。

### ■狩野氏の功績

狩野氏は、昭和59年から通算23年間に亘り、北海道歯科技工士会岩見沢支部（理事、専務理事、副会長、会長）と本会の役員（副会長）を歴任し、北海道における歯科技工士の社会的地位の向上と就業環境の整備に尽力してきた。医療関係従事者としての歯科技工士の生涯研修事業について率先して取り組み、現在の北海道歯科技工士会の学術事業の礎を築き、道民の歯科医療と口腔保健等の増進に多大なる貢献をされました。

### ■受賞を讀めて（期待に応えるマインド）

歯科技工を取り巻く環境の変化への対応や、国民の健康長寿に向けて求められる内容が変化している事をふまえて、今まさに歯科技工士の重要性を社会にアピールしていくのは大事です。そのために現役歯科技工士が奮起することで、今後の歯科技工士業界ならびに歯科医療全体の活性化に繋がっていきます。

今回の受賞から、私たち歯科技工士は、自分の仕事に誇りをもてる歯科補綴物を提供していくこと。そしてこれからも健康寿命延伸と明るい社会の実現を目指し、同僚や歯科技工士会とのパートナーシップのもと、さらに活動が続けていきたいと思いました。狩野氏の受賞に感謝いたします。受賞おめでとうございます。



## ● ● 離島歯科診療派遣 天売島編 ● ●

札幌歯科技工士会 高際 兼治

離島歯科診療派遣は、歯科医療を受ける機会に恵まれない離島の人々に歯科医療を確保する事を目的としたものです。私が派遣員として参加するようになって10年以上になります。

天売・焼尻両島に2週間続けて2年ほど行ったことがあります。40回を超えています。

両島ともニシン漁が盛んな頃は人口3,000人を超えていたといいます。今は200人前後です。重要産業は漁業と観光です。交通機関はフェリーが運航しています。夏場は便数が多いですが冬場は1便のみです。海が荒れると何日も欠航することがあります。島民にとっては一大事です。注文した食料品やいろいろなものがストップします。又、電源は焼尻より天売へ海底ケーブルで送電されています。使用量には制限があります。電源の都合でファースネスは使用できません。よって技工作業は義歯関係になります。クラスプはワイヤークラスプになります。その上5日で仕上げる、なんとも忙しい事になります。それでも島の人々は義歯が割れた、海に落とした、合わなくなったから新しい義歯を作ってくれと診療所に来ます。年3回の派遣を心待ちにしていますので、私も力になります。

派遣のことは、この会報で何回も詳しく取り上げていますので、このくらいにしておきます。島での思い出といいますか、心に残っている事を2つほど書いてみたいと思います。

①何回目の派遣の事だったか忘れましたが、天売島に巣巣しているウトウという海鳥を見に行こうとみんなで車に乗って出かけました。20分ぐらいで巣地に着きました。

薄暗くなった空に2羽3羽とウトウが帰って来ます。口には何匹もの魚をくわえています。何分もたたないうちに空が見えなくなるほどの数の海鳥が、いたどりの繁った巣穴に飛び込んで行きます。自分の巣がよくわかるなあと思います。バサーバサーと目の前を、音をたててつつこんで行きます。80万羽といわれるウトウが、みごとに自分の巣に帰って行きます。見ごたえがあります。ちなみに、この天売島は海鳥の集団繁殖地に指定されています。一見の価値があります。



②今考えてもすっきりしない事があります。この時は義歯が多く10床ぐらいあったと思います。患者さんには印象を取ってから1時間ほど待ってもらい、ベースプレートを作り、バイトまでとって次の日に来てもらうという事など、色々と時間短縮のために行い、製作していました。時間内だけでは出来ないので夕食を食べてから、又診療所に戻り作業を続けておりますと、何か目線を感じて窓の方を見るとこちらをジューっと見ている顔がありました。島の人が見物に来たのかなと思い、私は軽く頭を下げて仕事を続けていましたが、気になるのでまた見ると、まだジューっと見えています。私はどうぞ入って下さいと声をかけて、技工室のドアを開けてどうぞと外を見ると誰もいないのです。あれっ、今窓の所にいた人がいません。右側は崖ですし、左側は見通しが良いし、走って帰ったのを見のがしたのかなと思って、私は仕事に戻りその日は終わりました。その後の派遣の時に島の人たちの話の中に、昔は3,000人以上のにぎわいがあった。ヤン衆といわれる人足や女郎さん、人が集まればケンカやもめ事、悲しい出来事もあったそうです。又、この診療所は葬儀場としても使われていたという事です。そんな話を聞いているうちに…あの夜の事はこの世の者ではなかったのか？

まあ、長い事生きているといろんな事があります。とにかく、元気なうちはこの事業に参加していこうと思います。



## ● ● 令和3年度（2021年度）離党巡回診療に対する 歯科診療班事業（第3班）の中止について ● ●

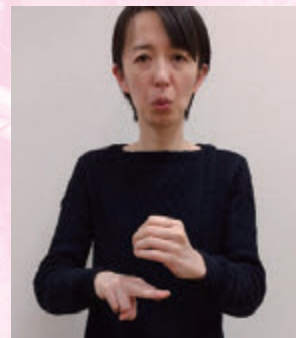
令和4年（2022年）1月22日（土）から離党巡回診療に対する歯科診療班事業（第3班）を実施する予定でしたが、天売班・焼尻班ともに新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止することとなりました。

## ● ● 歯科技工における手話表現・見える言葉 ● ●

工藤 三重子

今年度の研修会はオンラインや対面、または併用での開催、さらに延期や中止と新型コロナウイルスの感染状況に合わせた対応が必要となりました。そして、この状況はまだ続くと言われています。出来ることを模索しながら共に乗り越えていきたいものです。

今回は、私たちの生活に大きく影響を与えている「新型コロナウイルス」の手話表現です。ニュースで手話表現を見ていると、微妙な表現の違いやニュースの内容によっては「コロナ」のみの省略した表現をしている場合もあります。「ウイルス」の手話は顕微鏡をのぞいているようなイメージです。

| 新型コロナウイルス                                                                          |                                                                                    |                                                                                     |                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 口形：しん                                                                              | がた                                                                                 | コロナ                                                                                 | ウイルス                                                                                 |
|  |  |  |  |
| 両手閉じた指先の4指を前方に素早く開く。                                                               | 両手指文字「レ」を上下逆方向に一往復動かす。                                                             | 左手指文字「オ」の親指側に右手グーを付け回しながら開く。                                                        | 左手指文字「オ」の形の小指側、右手指文字「ウ」を水平に小さく回す。                                                    |
| (手話：新しい)                                                                           | (手話：型・形)                                                                           | (手話：コロナ)                                                                            | (手話：ウイルス)                                                                            |

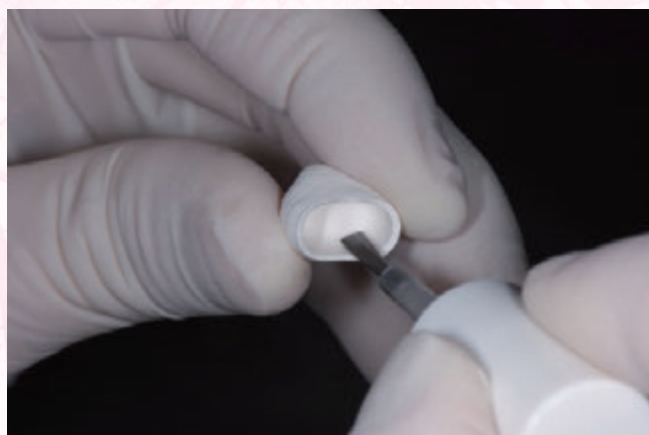
2021年度 北海道デフ歯科技工士協議会主催歯科技工用語手話研修会は、会場またはオンラインで10回開催。その他にオンラインで土曜日20時より「歯の手話フリートーク」を希望者で行っています。次年度の予定につきましては、北海道歯科技工士会にお問い合わせください。



## ● ● プロフェッショナル「モノリシックジルコニアへのオペーク的加工」 ● ●

札幌歯科技工士会 熊坂 俊輝

透光性モノリシックジルコニアはオペークが無いいため着色歯やメタルコアの場合、下地が透過し審美性に欠けるケースがあった。シンタリング前のカラーリング剤を活用しオペーク効果を持たせることが可能である。同形状の支台歯をグレーのレジンで3Dプリントし、同じ設計データ、同じジルコニアディスクを使用し、カラーリングによるオペーク的加工の効果を検証した。



Tanaka ジルカラープラス snow white、Tanaka ジルカラーシュプリーム thinner の順で内面にカラーリング剤を浸透させ、シンタリングを行う。



オペーク加工なしの場合、支台歯の色が透けてグレー色が出ているのが確認できる。  
(特にマージンの薄い部分)  
カラーリング剤のオペーク効果が確認できる。

### 使用材料

弊社オリジナルジルコニアディスク (アダマンド並木精密宝石株式会社製)

Tanaka ジルカラープラス snow white

Tanaka ジルカラーシュプリーム thinner

IPSe.max セラムグレースペースト FLUO

## お知らせ

### ● ● 新型コロナウイルス感染症について ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会ホームページにて、情報を適宜掲示しています。 <https://dougior.jp>

### ● ● 北海道歯科技工士会メーリングリスト登録について ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会は、メーリングリスト構築並びにウェブを使ったセミナーを開催しております。まだ登録をされていない方は、公益社団法人北海道歯科技工士会ホームページにて、登録をお願いいたします。 <https://dougior.jp>

※メーリングリスト登録の注意点

機種変更や受け取りたい媒体の変更によりアドレスが変更になる場合は、メーリングリスト登録フォームから再度登録していただき、備考欄にアドレス変更と必ず入力して再登録を行ってください。

### ● ● 公益社団法人北海道歯科技工士会 Twitter(ツイッター)公式アカウント開設について ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会は、Twitter (ツイッター)公式アカウントを開設いたしました。本会に関わる情報を発信していきます。最新の研修会案内も投稿します。是非、Twitter をインストールしていただき北海道歯科技工士会のフォローをお願い致します。



### ● ● プロフェッショナルの募集について ● ●

会誌プロフェッショナルのコーナーに掲載する写真を募集しています。写真1～2枚と題名及び使用材料を明記のうえ是非ご応募下さい。 e-mail [dougior@abelia.ocn.ne.jp](mailto:dougior@abelia.ocn.ne.jp)

### ● ● 学術論文の募集について ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会は、歯科技工技能水準の向上と安全で安心な歯科補てつ物等の提供等により道民の健康増進に寄与するための公益事業として「学術優秀論文表彰」を行っております。下記のとおり「学術論文の募集」を行いますのでご応募下さい。

- 目的：歯科技工士ならびに歯科技工士学生の学術研鑽意欲の向上を図る目的で、応募のあった中から最優秀論文を選考し表彰する。
- 対象：北海道で就労している全ての歯科技工士および北海道内の歯科技工士養成機関の本科学生および専攻科等の学生。
- 論文内容：歯科技工技術知見に係わる全般で、文字数および図表等の枚数に制限はありません。
- 募集期間：2022年1月～2022年12月まで。
- 選考方法：応募期間中に寄せられた論文は、外部選考委員も含めた3名の選考委員によって最優秀論文を選考、決定します。
- 副賞：最優秀論文受賞者には、さらなる学術研鑽を積まれるように副賞を授与します。
- 選考委員

【外部選考委員】北海道大学大学院 歯学研究科 横山 敦郎 教授  
北海道医療大学 歯学部 越野 寿 教授

【内部選考委員】公益社団法人北海道歯科技工士会 扇 照幾 会長

■お問い合わせ先：公益社団法人北海道歯科技工士会 事務局

〒001-0037 札幌市北区北37条西4丁目3-8

TEL (011) 717-7155 FAX (011) 717-6954

e-mail [dougior@abelia.ocn.ne.jp](mailto:dougior@abelia.ocn.ne.jp)

# 公益社団法人 北海道歯科技工士会 活動・会員特典紹介

## 講習会・研修会の開催

厚生労働省後援の学術大会（年1回）・  
学術研修会（年3回）をはじめ  
実技研修会・各セミナーを開催しています。  
（歯科技工士生涯研修認定）  
会員は基本会費1,000円で参加できます。  
（卒後3年以内の会員は無料）



## 情報提供

歯科技工に関わる最新の情報を会員限定ページや会誌にて、随時、情報提供しています。

## 歯科技工士仲間との交流

各地域歯科技工士会において、様々な行事・レクリエーションが行われています。



## 厚生労働省や関連団体との交渉窓口

歯科技工業界のさまざまな問題を交渉し、歯科技工の職業・生活水準向上のため、全力で取り組んでいます。

## 慶弔制度の充実

長寿祝金・出生祝金・死亡弔慰金・高度障害見舞金・火災見舞金・災害見舞金など慶弔制度が充実しています。

お近くに、まだ未入会の歯科技工士の方が  
いらっしゃいましたら是非ご案内ください。

ホームページ <https://dougi.or.jp>



北海道歯科技工士会

検索

